

昭和53年

市報

やまぐち

11月15日



一の坂ダム建設地 かわりゆく天花畠を見学 (天殿地区子ども会)

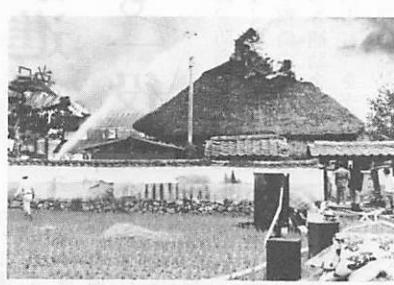
十一月三日、市内で初めてできる一の坂ダム建設予定地や湖底に沈む天花畠を、天殿地区の子どもや父兄百十五人が、県土木事務所の吉賀正治さんの案内で見学しました。道路やダム建設現場を歩いてまわり、変わりゆく天花畠に目をはりました。

このダムは、治水を目的に建設されるもので、昭和五十七年に完成し、総工費は約五億円が見込まれています。

11月26日～12月2日 秋の火災予防運動

小さな注意が命を防ぐ

■火魔は狙う
暖かい火が離せない季節となりました。火を使う機会も、ちょっとした注意があれば、防げるものです。



それぞれの持つ火の用場で用心
生かせ

- ・ほこの火の不始末、火遊び、草焼きと続き、いずれも、ちょっとした注意があれば、防げるものです。
- ・消防署では、一般家庭で次のことを行なうよう呼びかけています。
- ・焼死事故にあいややすいお年寄りや子ども、体の不自由な人への配慮
- ・家族を焼死事故へおいやすいや寝たばこへの注意
- ・主婦が中心となつて、隣り近所と防火の話し合い
- ・消火器、防火用水の設置など初期消火への備え
- ・火気使用器具の点検整備

火は燃えよどむる

■原因の「王者」たき火
今年の一月から十月末日まで、市内では六十七件の火災が発生し、約九千二百万円の大切な財産が灰になっています。

原因の一位は、たき火、次いでたき火、次いでた

- ・消防署では、一般家庭で次のことを行なうよう呼びかけています。
- ・焼死事故にあいややすいお年寄りや子ども、体の不自由な人への配慮
- ・家族を焼死事故へおいやすいや寝たばこへの注意
- ・主婦が中心となつて、隣り近所と防火の話し合い
- ・消火器、防火用水の設置など初期消火への備え
- ・火気使用器具の点検整備

会が多くなり、また、空気が乾き、草木はもえやすい状態が続きます。いつも、火魔はねらっているのです。

